

議事日程(第4号)

平成22年9月16日 午前10時00分開議

- 日程第1 議案第72号 平成22年度対馬市一般会計補正予算(第3号)
歳入は、所管委員会にかかる歳入
歳出は、1款・議会費、2款・総務費、9款・消防費
10款・教育費、13款・諸支出金
議案第84号 辺地に係る公共的施設の総合的な整備計画について
- 日程第2 議案第72号 平成22年度対馬市一般会計補正予算(第3号)
歳入は、所管委員会にかかる歳入
歳出は、3款・民生費、4款・衛生費
- 日程第3 議案第72号 平成22年度対馬市一般会計補正予算(第3号)
歳入は、所管委員会にかかる歳入
歳出は、6款・農林水産業費、7款・商工費
8款・土木費、11款・災害復旧費
- 日程第4 発議第6号 離島の燃油にかかる税を免税とする法律制定を求める意見書

本日の会議に付した事件

- 日程第1 議案第72号 平成22年度対馬市一般会計補正予算(第3号)
歳入は、所管委員会にかかる歳入
歳出は、1款・議会費、2款・総務費、9款・消防費
10款・教育費、13款・諸支出金
議案第84号 辺地に係る公共的施設の総合的な整備計画について
- 日程第2 議案第72号 平成22年度対馬市一般会計補正予算(第3号)
歳入は、所管委員会にかかる歳入
歳出は、3款・民生費、4款・衛生費
- 日程第3 議案第72号 平成22年度対馬市一般会計補正予算(第3号)
歳入は、所管委員会にかかる歳入

歳出は、6款・農林水産業費、7款・商工費
8款・土木費、11款・災害復旧費

日程第4 発議第6号 離島の燃油にかかる税を免税とする法律制定を求める意見書

出席議員（21名）

1番 脇本 啓喜君	2番 黒田 昭雄君
3番 小田 昭人君	4番 長 信義君
5番 山本 輝昭君	6番 松本 曆幸君
8番 齋藤 久光君	9番 堀江 政武君
10番 小宮 教義君	11番 阿比留光雄君
12番 三山 幸男君	13番 初村 久藏君
14番 糸瀬 一彦君	15番 桐谷 徹君
16番 大浦 孝司君	17番 小川 廣康君
18番 大部 初幸君	19番 兵頭 栄君
20番 中原 康博君	21番 島居 邦嗣君
22番 作元 義文君	

欠席議員（1名）

7番 阿比留梅仁君

欠 員（なし）

事務局出席職員職氏名

局長	橘 清治君	次長	梅野 泉君
参事兼課長補佐	長野 元久君	副参事兼係長	國分 幸和君

説明のため出席した者の職氏名

市長	財部 能成君
副市長	大浦 義光君
副市長	齋藤 勝行君
政策補佐官	松原 敬行君

地域再生推進本部長	永尾 榮啓君
観光物産推進本部長	本石健一郎君
総務部長	平山 秀樹君
総務課長	桐谷 雅宣君
市民生活部長	近藤 義則君
福祉保健部長	扇 照幸君
農林水産部長	比田勝尚喜君
建設部長	斉藤 正敏君
水道局長	阿比留 誠君
教育長	梅野 正博君
教育部長	大石 邦一君
美津島地域活性化センター部長	長郷 泰二君
豊玉地域活性化センター部長	中村 敏明君
峰地域活性化センター部長	大川 昭敬君
上県地域活性化センター部長	武田 延幸君
上対馬地域活性化センター部長	川本 治源君
消防長	竹中 英文君
会計管理者	糸瀬 良久君
監査委員事務局長	主藤 繁明君
農業委員会事務局長	永留 秋廣君

午前10時00分開議

○議長（作元 義文君） おはようございます。

報告します。阿比留梅仁君より、欠席の届け出があっております。

これからお手元に配付しております議事日程第4号により、本日の会議を開きます。

暫時休憩します。議会運営委員会を開きますので、委員は別室にお願いします。

午前10時00分休憩

.....

午前10時28分再開

○議長（作元 義文君） 再開します。

日程第1. 議案第72号・第84号

日程第2. 議案第72号

日程第3. 議案第72号

○議長（作元 義文君） 日程第1から第3まで、各常任委員会に分割付託しておりました議案第72号、平成22年度対馬市一般会計補正予算（第3号）及び、議案第84号、辺地に係る公共的施設の総合的な整備計画についての2件を一括議題とします。

2件は各常任委員会に付託しておりましたので、各常任委員会の報告を求めます。

総務文教常任委員会。副委員長、初村久藏君。

○議員（13番 初村 久藏君） おはようございます。総務文教常任委員会の審査報告書。

平成22年第3回対馬市議会定例会の初日において、会議規則第37条の規定により、本委員会に付託されました案件については、議長あて報告しており、既に皆様のお手元に配付されております。その経過と結果を、同規則第103条の規定により報告いたします。

当委員会は、平成22年9月10日、中原委員は欠席でしたが、豊玉地域活性化センター3階第1会議室において、議会事務局、市長部局、消防本部、教育委員会の説明員の出席を求め、慎重に審査をいたしました。その結果を報告書の2ページの19行目から報告いたします。

議案第72号、平成22年度対馬市一般会計補正予算（第3号）のうち、本委員会に係る歳入については、10款地方交付税3億8,927万2,000円の追加、14款国庫支出金2項国庫補助金7目消防費国庫補助金において、消防防災等施設整備費補助金25万1,000円の減、8目教育費国庫補助金において、安全・安心な学校づくり交付金等959万8,000円の追加、15款県支出金2項県補助金1目総務費県補助金において、緊急地域雇用創出事業交付金等7,207万7,000円の追加、7目消防費県補助金において、消防団確保対策推進事業補助金80万円の追加、8目教育費県補助金において、県公立小中学校適正規模化支援交付金等75万1,000円の追加、18款繰入金2項基金繰入金において教育施設整備基金繰入金1,000万円の追加、19款繰越金は前年度剰余金1億4,129万4,000円の追加、20款諸収入5項雑入において、国際交流支援事業補助金等796万7,000円の追加、21款市債1項市債7目消防債において消防防災等施設整備事業債360万円の減、8目教育債においてスクールバス購入事業債230万円の追加が主な内容となっております。

歳出の主な内容については、1款議会費は費用弁償20万3,000円の追加、2款総務費は1項総務管理費9節旅費で職員派遣旅費及び普通旅費125万4,000円の追加、12節役務費で通信運搬費500万円の追加、13節委託料で顧問弁護士委託料143万4,000円の追加、4目会計管理費は備品管理システム改修委託料32万6,000円の追加、5目財産管理費7節賃金で緊急地域雇用創出事業交付金による臨時雇い賃金77万6,000円の追加、11節需用費で各集会施設、公衆トイレ、公園等の修繕料等131万2,000円の追

加、13節委託料で庁舎内案内板製作委託料等69万7,000円の追加、15節工事請負費で庁舎内設備改修工事等2,059万2,000円の追加、7目企画費9節旅費で普通旅費65万5,000円の追加、15節工事請負費でCATV施設整備工事等103万円の追加、19節負担金補助及び交付金で、住宅用太陽光発電設備導入費補助金等688万3,000円の追加、8目市民協働推進費は環境改善シンポジウム経費等202万3,000円の追加、9目国際交流費13節委託料で緊急地域雇用創出事業交付金による「対馬」啓発・情報発信事業委託料310万円の追加、19節負担金補助及び交付金で財団法人地域総合整備財団から交付されるe一地域資源活用事業助成金を活用した朝鮮通信使縁地連絡協議会補助金160万円の追加、11目諸費は厳原町、美津島町管内の防犯灯設置工事50万8,000円の追加、2項徴税費2目賦課徴収費13節委託料で住民税システム改修業務委託料等656万円の追加が主な内容となっております。

次に、9款消費費は1目常備消費費で緊急地域雇用創出事業交付金による住宅防火安全対策の普及啓発事業経費として4節共済費及び7節賃金で臨時雇い事務経費として789万7,000円の追加、9節旅費で223万2,000円の追加、11節需用費で98万1,000円の追加、14節使用料及び賃借料で247万8,000円の追加、日本防火協会助成事業による幼年消防隊用鼓笛セット購入費として、19節負担金補助及び交付金で少年婦人防火委員会助成金40万円の追加、2目非常備消費費は県補助金の消防団確保対策事業により、幼児、小中学生の消防用被服購入費、県消防ポンプ操法大会に伴う訓練場の照明仮設費用として、対馬市分会補助金123万円の追加、3目消防施設費11節需用費で指令台無停電電源装置、無線中継所蓄電池の取り替え経費として279万3,000円の追加、15節工事請負費で上県出張所庁舎建設の伴う機械設備工事請負費として2,457万円の追加、18節備品購入費で救助工作車の購入費確定等により383万6,000円の減が主な内容となっております。

次に、10款教育費は1項教育総務費2目事務局費1節報酬及び9節旅費で学校適正規模、適正配置等検討委員会費用として31万円の追加、12節役務費で通信運搬費42万8,000円の減、2項小学校費1目学校管理費11節需用費で、佐護小学校水害関係、比田勝小学校及び乙宮小学校浄化槽修繕料として370万円の追加、13節委託料で消防設備点検委託料282万円の追加、15節工事請負費で厳原小学校給食用昇降機更新、豊小学校遊具設置、久田小学校屋上防水補修工事として732万円の追加、2目教育振興費13節委託料で島山スクールバス運行委託料及びその他不足分として183万1,000円の追加、14節使用料及び賃借料で島山スクールバス運行委託料への組み替えによる102万5,000円の減、3目学校建設費は、厳原小学校体育館耐震化事業費として1,641万1,000円の追加、3項中学校費1目学校管理費13節委託料で消防設備点検委託料164万8,000円の追加、5項社会教育費2目公民会費

4節共済費及び7節賃金で緊急地域雇用創出事業交付金による上対馬・上県・美津島公民館図書活用事業の臨時雇人件費として641万円の追加、11節需用費で消耗品費等171万4,000円の追加、13節委託料で清掃委託料の減等に伴う591万円の減、14節使用料及び賃借料でパソコン使用料等128万7,000円の増、3目文化財保護費4節共済費及び7節賃金で緊急地域雇用創出事業交付金による市内遺跡の実測及び維持管理事業の臨時雇人件費として440万1,000円の追加、11節需用費で消耗品費等112万7,000円の追加、6項保健体育費2目体育施設費11節需用費で巖原総合公園テニスコートフェンス修繕料等93万8,000円の追加、3目学校給食費11節需用費で峰・豊玉・上対馬学校給食共同調場設備修繕料等352万9,000円の追加が主な内容となっております。

次に、13款諸支出金2項公営企業費297万5,000円の追加は、旅客定期航路事業特別会計への繰出金であります。

議案第84号、辺地に係る公共的施設の総合的な整備計画については、辺地に係る公共的施設の総合的な整備計画について変更及び新規計画がなされ、15辺地計画のうち巖原辺地、内山辺地、仁位辺地及び豊辺地の4辺地が変更計画で、巖原辺地が救助工作車の追加による変更、内山辺地が市道内山2号線改良工事の追加による変更、仁位辺地が豊玉診療所の胃カメラ購入事業の追加による変更、豊辺地が小型動力ポンプ購入事業の追加による変更であります。豆殿辺地から小鹿辺地までの11辺地が新規計画で、犬吠及び田辺地が道路、加藤辺地がスクールバス購入、仁田辺地が農道・林道施設、残り7辺地が消防施設関係の新規計画であります。

以上、本委員会に付託されました議案第72号及び議案第84号の2議案につきましては、慎重に審査し、採決の結果、いずれも賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決定しました。

以上で、総務文教常任委員会の審査報告といたします。

○議長（作元 義文君） 次に、厚生常任委員会委員長、大浦孝司君。

○議員（16番 大浦 孝司君） 厚生常任委員会の審査報告を行います。

平成22年第3回対馬市議会定例会の初日において、会議規則第37条の規定により、本委員会に付託されました案件は、議案第72号、平成22年度対馬市一般会計補正予算（第3号）のうち、歳入は、所管委員会に係る歳入、歳出は3款民生費、4款衛生費であります。その審査の経過と結果を、同規則第103条の規定により次のとおり報告いたします。

当委員会は、平成22年9月10日、豊玉地域活性化センター3階小会議室において、全委員出席のもと、市長部局より扇福祉保健部長、近藤市民生活部長並びに各担当課長の出席を求め、付託議案について慎重に審査を行ったところであります。

歳入の主なものは、14款国庫支出金2項国庫補助金2目民生費国庫補助金981万7,000円は、次世代育成支援対策交付金及び、子ども手当事務取扱交付金による増額であります。

15款県支出金2項県補助金2目民生費補助金78万9,000円の減額は、3節児童福祉費補助金のうち児童環境づくり基盤整備事業補助金2,069万7,000円の減額、安心子ども基金事業補助金等の増額によるものでございます。

歳出については、3款民生費1項社会福祉費において1目社会福祉総務費では、23節返還金利子及び割引料の障害者自立支援事業の国費精算返還金857万7,000円、県費精算返還金424万2,000円の増額が主なものであります。5目法人福祉費の増額の主なものは、20節扶助費390万8,000円であります。配食サービス、生きがい活動適所サービス等の高齢者生活支援給付の所得による利用制限を10月から廃止することにしており、不足する財源を補うものであります。次に、2項児童福祉費2目児童福祉施設費7節賃金513万円は保育所の運営に係る産休代替賃金、臨時調理員賃金、障害児受け入れによる臨時保育士賃金であります。また、13節委託料の放課後児童健全育成事業委託料160万5,000円は、補助基本額の改定によるものであります。15節工事請負費215万7,000円は、一重へき地保育所のイノシシ対策用フェンス。乙宮へき地保育所のトイレ改修工事によるものであります。19節負担金補助及び交付金1,198万8,000円については、送迎バス3台分の購入に係る放課後児童健全育成事業補助金の追加が主なものになっております。

4款衛生費1項保健衛生費1目保健衛生総務費95万1,000円増額については、新病院基本計画検討委員会を設置することとしており、15人以内で構成され、本年度8回程度の委員会開催を予定しているとのことであり、その委員報酬と旅費によるものであります。5目診療所費18節備品購入費は、峰歯科診療所の診療ユニット435万8,000円の増額計上であります。

次に、市民生活部に係る4目環境衛生費140万1,000円の増額は環境基本条例検討委員会等、報酬、旅費を計上のほか、島内に家庭用廃油回収ボックスを50カ所設置するものであります。2項清掃費1目清掃総務費308万9,000円の増額については、生ごみリサイクル回収事業が主なものであります。その他の補正額については、地域ニューディール基金による当初予算の組み替えであります。2目塵芥処理費1億6,870万8,000円の主なものは、対馬クリーンセンター機械器具保守点検委託料であります。4月から9月までを前期分とし、当初予算に1億5,000万円計上済みであります。10月から3月までの後期分として1億6,723万5,000円を増額するものであります。3目し尿処理費1,690万円につきましては、厳美清華苑、中部クリーンセンターの機械器具取り替えに要する増額であります。

審査中、対馬クリーンセンターの保守点検委託料は、年間3億円を超えており、メーカー側の一方的な要求がなされないよう、市がコンサルタントに年間委託料367万5,000円を支払っているが、効果があったのかという質疑に対し、平成22年度分については2,577万6,000円の削減があったとの答弁であります。評価すべきものと判断しますが、さらに努力

されることを期待するものであります。

なお、予算関連の質問であります。豊玉診療所の升木医師との契約は今年8月末日までとなっていました。9月以降はどのようなことになっているのかとの質疑に対し、本人は当初大阪に帰る予定でありましたが、大勢の皆さんの説得により、1月の半分を大阪で高齢の母親と過ごし、残りの半分は豊玉診療所での診療を条件に承諾されたことを報告します。

以上、本委員会に付託されました議案第72号につきましては、慎重に審査を行った結果、賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上、厚生常任委員会の審査報告といたします。

○議長（作元 義文君） 次に、産業建設常任委員長、小川廣康君。

○議員（17番 小川 廣康君） 続きまして、産業建設常任委員会の審査報告を申し上げます。

平成22年第3回対馬市議会定例会の初日において、会議規則第37条の規定により本委員会に付託されました案件は、議案第72号、平成22年度対馬市一般会計補正予算（第3号）、歳入は、所管委員会に係る歳入、歳出は、6款農林水産業費、7款商工費、8款土木費、11款災害復旧費の1議案であります。その審査の経過と結果を、同規則第103条の規定により報告をいたします。

当委員会は、9月10日、豊玉地域活性化センター3階第2会議室において、糸瀬委員は欠席でありましたが、市長部局より本石観光物産推進本部長、近藤市民生活部長、比田勝農林水産部長、斉藤建設部長、扇福祉保健部長と美津島・豊玉・峰・上県及び上対馬の地域活性化センター部長並びに担当課長等の出席を求め、慎重に審査をいたしました。

議案第72号、平成22年度対馬市一般会計補正予算（第3号）のうち、本委員会にかかる歳入については、12款分担金及び負担金において、2目農林水産業費分担金で21万9,000円の増、5目災害復旧費分担金で5万円の増、13款使用料及び手数料5目土木使用料で448万2,000円の増、14款国庫支出金1項国庫負担金4目災害復旧費国庫負担金で3億80万円の増、2項国庫補助金5目商工費国庫補助金の1,000万円の増、3項委託金の1目総務費委託金で1,275万円の増であります。15款県支出金では、2項県補助金4目農林水産業費県補助金で2,108万円の増、5目商工費県補助金で125万9,000円の増、9目災害復旧費県補助金で1,630万円の増であります。21款市債では、農林水産業債を310万円、土木債を230万円、災害復旧債を9,010万円、それぞれ増額するものであります。

歳出については、6款農林水産業費のうち1項農業費1目農業委員会費で農地利用状況調査現地確認及び耕作放棄地調査現地確認の折の臨時雇用賃金等で189万4,000円の増、3目農業振興費でイノシシ捕獲補助金、有害鳥獣被害防止対策事業補助金等の追加により7,307万9,000円の増、2項林業費2目林業振興費で森林施業集約化事業委託料、自然災害防止工事

費、森林整備地域活動支援交付金追加等により4,158万1,000円の増、3項水産業費では離島漁業再生支援交付金、漁港関連道整備工事等の追加により2,023万2,000円の増であります。

7款商工費2目商工振興費で、過疎地域等自立活性化推進交付金事業の採択により、対馬の認知度をアップする事業に取り組むため1,264万9,000円の増、3目観光費で地域生物多様性保全活動支援委託料、観光地整備開発事業委託料、バイオマスボイラー購入費等により8,317万9,000円の増であります。8款土木費では、2項道路橋梁費2目道路維持費で維持補修工事等の追加により1,010万円の増、3項河川費で海岸自然災害事業負担金等により328万6,000円の増、4項港湾費ではターミナルビル等の維持管理費で506万2,000円の増、6項住宅費では修繕料、維持補修工事の追加により757万9,000円の増であります。11款災害復旧費では、1項農林水産施設災害復旧費で2億6,229万5,000円、2項公共土木施設災害復旧費で1億7,789万8,000円、4項その他の災害復旧費で1,328万6,000円をそれぞれ追加するものが今回の主な補正であります。

以上、本委員会に付託されました議案第72号は慎重に審査し、採決の結果、賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決定をいたしました。

なお、審査の過程で委員から出されました意見を申し添えますので、今後の行政運営に反映されることを望みます。今回の補正で新たに取り組まれる事業で、地域生物多様性保全活動支援事業は、環境省の委託事業で生物多様性の保全に関する法定計画の策定事業等の応募事業についてツシマヤマネコの保護増殖事業計画を内容とした申請を行ったところ、事業の採択を受け、総合的な保護増殖計画を策定しようとするものであります。本事業は3カ年計画であります。ツシマヤマネコの好適生息環境対策として森林管理指針や、地域住民と共生する、まさに総合的な計画を策定され、実証事業へと展開されることを望みます。

また、過疎地域等自立活性化推進交付金事業であります。本事業は提案型の事業であり、全国で32事業が採択され、対馬の認知度を高めるための調査・実証実験等を観光・物産において展開しようとするもので、その効果に期待するものであります。また、今回の補正のうち、災害復旧費が4億5,347万9,000円あります。査定決定後は速やかに発注し、災害復旧に取り組まれることを望みます。

なお、平成21年度の繰り越し事業においても未発注が見られますし、平成22年度事業につきましても、7月の豪雨また台風4号による災害の発生により発注が遅れていると思われ。危機的経済状況の中、臨時雇用等の施策により定住促進に努力されていることは伺えますが、事業の早期発注によりさらなる雇用の確保が図られるものと思われ。現況を認識され、スピード感を持って行政運営にあたられることをさらに要望いたします。

以上、産業建設常任委員会の審査報告といたします。

○議長（作元 義文君） 委員長報告が終わりました。2件について一括質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作元 義文君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

議案第72号、平成22年度対馬市一般会計補正予算（第3号）について、討論・採決を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作元 義文君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

本件に対する各委員長の報告はいずれも可決であります。

お諮りします。委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作元 義文君） 異議なしと認めます。したがって、本件は委員長報告のとおり可決されました。

議案第84号、辺地に係る公共的施設の総合的な整備計画について、これから討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作元 義文君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

次に採決を行います。本件に対する委員長報告は可決であります。

お諮りします。本件は委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作元 義文君） 異議なしと認めます。したがって、本件は委員長報告のとおり可決されました。

暫時休憩します。15分から開会します。

午前11時03分休憩

.....

午前11時14分再開

○議長（作元 義文君） 再開します。

.....

日程第4. 発議第6号

○議長（作元 義文君） 日程第4、発議第6号、離島の燃油にかかる税を免税とする法律制定を求める意見書の件を議題とします。

本件について提出者の趣旨説明を求めます。17番、小川廣康君。

○議員（17番 小川 廣康君） ただいま議題となりました発議第6号につきまして、御説明を申し上げます。

発議第6号、平成22年9月16日、対馬市議会議長作元義文様。提出者、対馬市議会議員小川廣康、賛成者、対馬市議会議員阿比留梅仁、同、大浦孝司。

離島の燃油にかかる税を免税とする法律制定を求める意見書について、別紙のとおり地方自治法第112条第2項及び会議規則第14条の規定により提出をいたします。

別紙のほうをごらんください。

離島の燃油にかかる税を免税とする法律制定を求める意見書（案）。我が国境離島における燃油価格は本土に比べ約3割程度割高となっている。島内の公共交通機関は路線バスが主として運行されているが、地形的条件や交通ダイヤ及び所要時間等を考えた場合、通勤通学などの移動を伴う活動は自家用車に頼らざるを得ない現状である。

また、生活を支える経済活動においても燃油の比重が高く、特に基幹産業である水産業及び農林業においては燃油の利用が非常に多い。このように、島民生活は本土に比べ割高な燃油を利用していることでしか成り立たない状況であり、社会経済活動すべてにおいて長年高いコストを強いられてきたことが、地域活性化の阻害要因とも言える。さらに、島民の平均所得は本土に比べ低く、安定した生活の維持がより困難な状況にある。生活の厳しさはもはや待ったなしの状態である。人口流出や過疎化の進行はとどまる兆しも見えず深刻で、本土との経済的格差の広がりや島民生活の疲弊に拍車をかけるものである、よって国におかれては本土との生活格差是正のため、適切な施策の実施を強く求めるものであり、離島における住民生活の安定と産業の振興を図り、自発的かつ持続的に発展できるよう国境離島の燃油にかかる免税措置を早急に法制化されることを求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出する。平成22年9月16日、長崎県対馬市議会、提出先、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、国土交通大臣、総務大臣、経済産業大臣、農林水産大臣、長崎県知事、以上のとおりであります。

皆様方の御賛同を賜りますようよろしくお願いをいたします。

○議長（作元 義文君） これから質疑を行います。質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作元 義文君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

お諮りします。本件は会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略したいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作元 義文君） 異議なしと認めます。したがって、本件は委員会付託を省略することに決定しました。

これから討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作元 義文君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

お諮りします。発議第6号は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作元 義文君） 異議なしと認めます。したがって、本件は原案のとおり可決されました。

お諮りします。本会議における議決の結果、条項、字句、数字、その他において整理を要するものがあるかと思慮されます。その整理権を会議規則第43条の規定によって、議長に委任願います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作元 義文君） 異議なしと認めます。したがって、整理権は議長に委任することに決定しました。

○議長（作元 義文君） 以上で、本日の議事日程はすべて終了しました。

市長よりあいさつの申し出がっておりますので、これを受けます。市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 皆様、大変お疲れさまでございます。閉会に当たりまして、一言あいさつを申し上げます。

本定例会におきましては、9月7日から本日までの長期間にわたり、慎重に御審議いただき、大変ありがとうございました。おかげをもちまして、御提案申し上げましたすべての議案につきまして御決定賜り厚く御礼申し上げます。

本定例会にて議決いただきました案件につきましては、早速適正な事務処理に努め、対処してまいりたいと考えております。

開会初日のあいさつの中でもお話させていただきましたが、あすの郵政事業を考えるシンポジウムが、去る9月10日金曜日に東京都千代田区の霞ヶ関ビルにて行われ、議会開会中ではございましたが、主催者からの要請を受け、パネラーとして参加をしてまいりました。同シンポジウムには原口一博総務大臣、自見庄三郎郵政改革担当大臣、斉藤次郎日本郵政株式会社社長などが主催者の立場で参加され、パネラーとしては横浜市立大学の教授をはじめ、4団体の機関、それから地方自治体からは対馬市のほかに1自治体が参加されておられました。このシンポジウムは郵政民営化後の郵政事業の問題点を把握し、今後の郵政事業のあり方を考えることを目的とし、総務省、日本郵政株式会社の主催により開催されたもので、私は離島における郵便局の現状やユ

ニバーサルサービスとしての郵政事業の今後、郵便局と市役所との連携のあり方などについて、地方の首長の立場から意見を述べてまいったところでございます。

また、東京からの帰りの機内では偶然にも原口総務大臣と席を隣り合わせ、福岡空港までの間、今後の地方のあり方や総合特区の課題など多岐にわたって意見を交わすことができ、大変不思議なめぐり合わせを感じたところでございました。

次に、定額フリーパスポートの購入についてでございますが、対馬市では平成22年9月から12月までの間、対馬島内の路線バス並びに市営バス及び予約制乗り合いタクシーの区間において1カ月5,000円の定額フリーパスポートの実証実験を行っております。高校生の通学や病院等への利用など、運賃低廉化に向けた路線バスの実証実験でございますが、今後の販売実績等により、本格導入の可否を今後検証することといたしております。将来の地域公共交通の確保のためにも、この定額フリーパスポートは今後の陸上交通の活性化と、運賃設定のあり方の検討材料として重要な実証実験と位置づけております。

市としましては、広く市民の皆様へ広報等を随時行い、多くの皆さんの購入を期待しているところでございます。議員の皆さんにおかれましても、趣旨御理解のうえ、御支援賜りますようよろしくお願いいたします。

また、本定例会にて閉会中の委員会付託となりなした平成21年度一般会計等の歳入歳出決算の審査につきましては、議員皆様へは大変御苦勞をおかけしますが、よろしく御審査賜りますようお願いいたします。

また、10月23、24日の日に長崎県主催の国境離島フォーラムが比田勝を主会場として開催されます。また、翌月の11月12日から14日には北海道大学主催で対馬国境フォーラム、そして国境自治体サミットを予定をしております。これらの参加もまたいただければというふうを考えておるところです。よろしくお願いいたします。

大変厳しかった夏の猛暑も次第に陰りを見せ、朝夕大変冷え込んでまいりました。議員の皆様におかれましても、御健勝でますます御活躍されるよう祈念申し上げまして閉会のあいさついたします。

どうもありがとうございました。

○議長（作元 義文君） 閉会に当たり、一言ごあいさつを申し上げます。

平成22年第3回定例会は、議案全般にわたり熱心に御審議をいただきまして、ここに滞りなく閉会の運びとなりました。議員各位はもとより、市長以下、市幹部の方々の御協力に対して、心からお礼を申し上げます。

また、審議の中で出されました貴重な意見、指摘事項、委員長報告などにつきましては、今後の行政運営に活かされることを期待します。

また、10月には先ほど市長のほうからも話がありましたように、国境・離島関係のフォーラムが多数予定をされております。議員各位の積極的な参加を望むものであります。皆様方の御健勝と御多幸を祈念しながら、閉会のあいさつとします。

なお、閉会后、決算審査特別委員会の件で協議がありますので、委員はしばらく自席で待機をお願いします。

会議を閉じます。平成22年第3回対馬市議会定例会を閉会します。お疲れさまでした。

午前11時26分閉会

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

議 長 作元 義文

署名議員 堀江 政武

署名議員 小宮 教義

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

議 長

署名議員

署名議員